

令和 7 年度 大田区防災会議（第 1 回） 議事要旨

1 日時

令和 7 年 10 月 22 日（水）午後 2 時から 3 時 30 分

2 参加者

別紙「令和 7 年度大田区防災会議（第 1 回）出席状況」のとおり

3 議題

- （1）令和 7 年 9 月 11 日大田区豪雨に係る対応状況について（資料番号 2）
- （2）大田区地域防災計画（令和 8 年度修正）について（資料番号 3）
- （3）避難所環境の改善・在宅避難支援体制の構築について（資料番号 4）
- （4）防災会議部会運営規定（仮称）の作成・委員の増加（大田区獣医師会代表者）について（資料番号 5）
- （5）令和 7 年度災害対策本部運営訓練について（資料番号 6）
- （6）防災危機管理課の普及啓発事業について（資料番号 7）
- （7）総合防災訓練（糀谷地区）の実施について（資料番号 8）
- （8）市民消防隊等合同訓練について（資料番号 9）

4 議事要旨

「議題（1）令和 7 年 9 月 11 日大田区豪雨に係る対応状況について（資料番号 2）」から「議事（8）市民消防隊等合同訓練について（資料番号 9）」まで、資料に基づき事務局から説明を行った。

防災全般に関する意見・要望など

（委員意見）

被害状況の資料を拝見すると、雪谷地区の件数が圧倒的に多くなっている。この原因として考えられることについて、把握されていることはあるか。

（区の回答）

雪谷地区が谷の地形をしていることと、総雨量 123 ミリの降雨、最低時間雨量が 62.5 ミリの降雨があったことから、短時間にかなりの雨が降ったことが影響していると考えられる。その結果、下水道管の排水能力を超えてしまい、多数の浸水被害が発生したと分析している。

（委員意見）

雪谷地区では約 15 年に一度の頻度で浸水被害が発生している。先日の豪雨の際は、出張所職員の巡回や災害ごみの回収等、区の迅速な対応に感謝している。一方で、東京都にて下水道の緊急対策が進められていたが、今回の豪雨で被害が発生した。引き続き、東京都に対して再発防止の要望を出したいと考えている。

(区の回答)

雪谷地区から別途要望を受けているので、東京都都市整備局長へ要望するための日程調整を行っている。急激な豪雨にも耐えうる災害に強いまちづくりの実現に向けて、区としても必要な取り組みを進めていきたいと考えている。

(委員意見)

スフィア基準に基づく避難所環境の整備に関して、莫大な予算がかかることと思われる。今後の具体的な見通しについて説明願いたい。

(区の回答)

基本的には、避難者を3万2,000人と想定して整備を進めていく。全体としては約10年で整備が完了する見込みである。また、予算の取り扱いや、保管場所、発災時の物品の輸送方法についても検討している。

(委員意見)

以前の大雨で、多くの人が出張所に避難したが、出張所が満杯になり、近くの区民センターが臨時で開放された。自宅が無事でも、災害への不安から避難してきたという方が多かった模様。今後は、自宅が無事な区民向けの対策を考え、避難の必要がない方が在宅避難をできるよう対策をお願いしたい。

(区の回答)

避難者が安心して在宅避難に移行できるよう、区として取り組みを推進してくとともに、避難所運営部会を設置し、専門的な意見を募る。これにより、より良い避難体制の検討と訓練への反映を行い、あらゆる災害に対応できる体制を構築することを目指していく。

(委員意見)

区として、高台への避難の実施を検討していると伺った。地域とマンションの交流が不足していることが課題であるので、区の方でマンションとの交渉を進めていくことで、スムーズに避難ができるようにしていただきたいと考える。

(区の回答)

高台マンションとの交渉についても、地域の方ができるだけ近くに避難できるよう協議を行っていくが、マンション側にも事情があるので、丁寧に協議を進めていきたいと考える。

(委員意見)

児童館での情報の混乱や、小学校の保護者に届くべきメールが届いていなかったなどの事象の報告を受けている。災害発生時において、適切な情報を適切に届けることが重要と考える。災害対策本部内の情報の共有と、それを適切に伝達するための環境の構築をしっかりと進めていただきたい。

(区の回答)

部局間連携による情報伝達及び区民の皆様に適切な情報を届けるための環境構築について、しっかりと進めてまいりたいと考えている。